

プラザ催しなど	●
ボランティア・市民活動団体の催しで 市民活動センターで行われるもの	▲
市内の他の場所で行われるもの	■
ぼらぶら休業日	■

日	曜日	催し物	
1	水	さくら草の会 交流会	▲
2	木	高齢者ボランティアポイント説明会 (3日Ⓢは祝日のため)	●
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
7	火		
8	水		
9	木		
10	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
11	土		
12	日	きらきら書道	▲
13	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
14	火		
15	水	さくら草の会 交流会	▲
16	木	市民活動センター 休館日	
17	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
18	土	みきおもちゃ病院 パソコン定期相談	▲
19	日		
20	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
21	火		
22	水		
23	木		
24	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
25	土	チャレンジャー きょうだい会ふたつばクローバー	▲
26	日		
27	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
28	火		
29	水	さくら草の会 交流会	▲
30	木		
31	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●

高齢者ボランティアポイント事業  
説明会

市内の施設でボランティアすることで、地域貢献や社会参加をしてみませんか？三木市内に住む65歳以上のみなさん、お待ちしております。

- 日 時：毎週金曜日 9:00～10:00
- 場 所：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎83-0090

6月のイベントのお知らせ

不登校・ひきこもりを考える集い  
—明日へのステップ—

「学校に行きたがらない子どもへの接し方に悩んでいる」「家族に負担をかけたくないけど、自分でもどうしたらいいのかわからない」  
不登校・登校しぶりやひきこもりがちな状況に悩む本人や家族が、明日から少しでも前を向けるようにとの想いで開催します。

- 日 時：6月29日Ⓢ 14:00～16:00
- 場 所：三木市立市民活動センター
- 内 容：当事者による体験談やトークセッション、意見交換など
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎83-0090



※電話または、Webフォームから事前の申込みをお願いします。



6月の講座のお知らせ

聴き上手ボランティア講座

人にエネルギーを与え、元気を取り戻させくれる「花」をコミュニケーションツールとし、つながりと癒しの輪を広げる聴き上手、話し上手になるための講座を開催します。  
傾聴に関心のある方、ボランティア活動に役立てたい方、ぜひご参加ください。

- 日 時：6月19日Ⓢ 13:00～15:30  
6月26日Ⓢ 13:30～15:30  
7月17日Ⓢ 13:30～15:30
- 場 所：三木市立市民活動センター
- 受講料：1,000円
- 申込先：ボランティア活動プラザみき ☎83-0090



マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ボランティア・市民活動情報「マガジン」は、ボランティア活動プラザみきのホームページからでもご覧いただけます

(発行) 三木市社会福祉協議会  
ボランティア活動プラザみき  
〒673-0403  
三木市末広 1-6-46  
(市民活動センター内)  
TEL 0794-83-0090  
Fax 0794-82-6666  
e-Mail mvsc@miki.or.jp



2024年度 明るい豊かな地域社会づくりに向けた取組みの広がりをめざして /  
みきボランティア活動記章 贈呈者募集

みきボランティア活動記章は、市民の継続した善行活動に対し感謝するとともに、これからも活動を継続する励みとなるよう三木市社会福祉協議会が贈呈するものです。

- |  |  |
|--|--|
| <p>□贈呈対象者<br/>善行活動を行っている個人に贈呈します。<br/>団体・グループの構成員、企業・事業所の職員も含まれます。</p> <p>□贈呈条件<br/>1. 行っている活動が広く一般社会の利益となる公益活動である。<br/>2. 自分自身の活動歴が5年以上ある。<br/>3. 現在もそれらの活動を継続している。</p> | <p>□記章の種類<br/>活動歴に応じて応募できる種類が変わります。<br/>5年以上   10年未満…銅 記章<br/>10年以上   15年未満…銀 記章<br/>15年以上 …金 記章</p> <p>★たとえば、こんな活動★<br/>ふれあいサロン、地域防犯活動、花いっぱい運動活動<br/>送迎ボランティア活動、演奏による慰問活動など</p> |
|--|--|

応募期間 《2024年5月10日Ⓢ～6月13日Ⓢ》

応募方法 所定の応募用紙（各公民館、交流センター、市民活動センターにあります）に必要事項を記入し、ご自身で応募していただきます。  
受付はボランティア活動プラザみき、よかわステーションの窓口のみとなります。

過去の受賞者の声

金銀銅のすべての記章を受賞された皆さんの声をご紹介します。



仲間があつての活動です。メンバーみんなで記章を申し込み、みんなで受賞して「がんばってきてよかった」と励みになった。この1年も楽しみながら、がんばります！



いろんな経験を積み、地域貢献をしたいと思いボランティア活動を始めました。これからも健康で心身が機能する限り、ボランティア活動を続けていきたい。

2023年度 受賞者

金章 32人  
銀章 3人  
銅章 7人



# 共感ファンドがつなく共感の輪

～三木市に再び人形劇の文化を根付かせたい～

## ボラ・プラみきの アクション・レポート (46) ～市民のチカラ～

### ◆ 令和5年度 みき人形劇まつりを開催

3月3日に開催された「令和5年度 みき人形劇まつり」では、年間約120ステージの公演活動を行っている「人形劇団どおならん」をよる公演が行われました。定員の150名を超える参加があり、大変盛り上がりました。

前座作品「やどかりのボーヤ」は、半人前のやどかりのボーヤが自分の家を探すお話です。難航するボーヤの家探しを見守る子どもたちは、つぎは何を見つけ、最後にどんな家に決めるのかと目を輝かせていました。

メイン作品「いかりのギョーザ」は、怒りのパワーで火がつく不思議なフライパンでおいしいギョーザを焼こうと、いしん坊のブタコさんが怒っている人を探しに出かけるお話です。フライパンを持つまでは怒っていた人も、おいしいギョーザを食べるとニコニコ笑顔になっていきます。いかりのパワーで勢い良くギョーザを焼くフライパンの様子は思わず見入ってしまいます。そんな人形たちの生き活きとした動きに魅了され、終演後の質問タイムで仕掛けについて質問した女性は、帰宅後、家族から「子どもたちの前で仕掛けについて質問するなんて！と怒られてしまった」と笑っていました。子どもだけや、その場限りではなく、参加者全員が人形劇の素晴らしさを改めて感じ、終演後も共通の話題で盛り上がることであったのではないのでしょうか。



原作：佼成出版社刊「いかりのギョーザ」  
作／荻田澄子 絵・大島妙子

### ◆ プロジェクトA「生でプロの人形劇を！」

みき人形劇の会は、ほとんど活動ができなかったコロナ禍を乗り越え、「人形劇の魅力を子どもたちに体験してもらいたい」「改めて三木に人形劇の文化を根付かせたい」という想いで、令和5年度の共感ファンドに応募しました。共感ファンドとは、共感できるプロジェクトを自分で選んで寄付できる仕組みです。集まった寄付金を資金として「誰もが安心して自分らしく暮らすことのできるまち」の実現を目指しています。今回、「生でプロの人形劇を！」には多くの共感が寄せられ、目標金額を超える17万円の寄付金が集まり、プロジェクトが実現しました。

### ◆ 広がっていく共感の輪

デジタルツールが増加していく中で子どもたちの遊び方も画面の中で完結するものへと変化しています。このプロジェクトには、大人も子どもも一緒に同じ空間で人形劇を楽しむことで、子どもたちの共感力、想像力を刺激し、豊かな心の育成に役立てたいというねらいがありました。

今回のプロジェクトに共感した方の中には、過去に自分自身が人形劇をしたり、観たりした経験から寄付をしようと決めた方もいました。「子どもたちの楽しむ姿を見ることが出来る大切な活動だから」「今後も活動を続けてほしいと思ったから」という多くの共感を得たからこそ、寄付達成率117%に繋がったのでしょう。みき人形劇まつりに参加した感想としても、「会場全体が人形たちの動きを一生懸命に追いかけて、物語の世界に惹き込まれていた」「次はどうなるかな、あの人形はどうやって動いているんだろう、と子どもも大人も考えながら楽しめた」と、みき人形劇の会のみなさんの想いが参加者へ届いたことがわかるお話を聞くことができました。

共感ファンドは、地域の課題を多くの市民と共有するとともに、課題解決に向けた取組に共感する人と団体とのつながりを大切にしています。今回のプロジェクトでうまれた共感の輪が、今後さらに広がり、三木市に人形劇の文化が根付く足がかりになることを期待しています。



チェックしてみてね

みき人形劇の会 インスタグラム  
アカウントはこちら  
公演を丁寧な会場案内とともに紹介しています！



@MIKI\_NINGYOUKEI

## 助成金情報

助成金等名称 (申請等期日・期間)	助成内容	問合せ・申込先
令和6年度 三木市ふれあいサロン 活動促進事業補助金 〔応募期間〕 令和6年6月28日 まで	地域の高齢者、障がいのある方、児童及びその保護者並びに家に閉じこもりがちな方が地域の中で生き生きと生活できる環境を創出するとともに、地域における見守りと支えあいに資する活動を促進することを目的としています。 〔対象となる団体〕 三木市を拠点として活動し、構成員が5人以上、三木市から別の補助金や委託金等をうけていない団体 〔補助金額〕 基礎補助金(上限)48,000円補助 対象となるサロン利用者数、開催回数に応じて加算があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■申請書の配布場所</li> <li>・市役所福祉課</li> <li>・吉川支所健康福祉課</li> <li>・市立公民館</li> <li>・市民活動センター</li> <li>・市のホームページからダウンロードできます。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■問合せ先</li> <li>三木市健康福祉部福祉課</li> <li>TEL: 0794-82-2000(代)</li> </ul>
令和6年度 花のあるまちづくり 活動促進事業 〔応募期間〕 令和6年5月7日～ 6月28日まで	公園や緑地、道路など公共の場において、花の植栽活動及びその管理を行う地域住民でつくるグループや団体に対して補助金を交付します。 〔対象となる団体〕 構成員が2人以上で、三木市内の公共施設において、花植え・緑化活動を主たる目的として活動する団体 〔補助金額〕 上限5万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■申請書の配布場所</li> <li>・市役所都市政策課</li> <li>・市立公民館</li> <li>・市民活動センター</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■問合せ先</li> <li>三木市都市政策課</li> <li>TEL: 0794-82-2000(代)</li> </ul>

わたしたちの暮らしを支える  
まちの資源をご存じですか？

だれかのため・いつかの自分のために  
知ってほしい身の回りの資源を  
紹介します！

＼私たちがお聞きします！



相談者の中には、「専門機関に相談するにはまだ早いと思っていた」という方もいます。しかし、悩みが深刻化する前に相談することも大切。まずは、モヤモヤする気持ちを吐き出しに、お気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせは  
三木市社会福祉協議会  
☎ 82-4043 まで

＼あなたのその悩み、ひとりで抱えこまないで！  
市民ふくし相談所

市民ふくし相談所は、日常生活をおくる中で生じるさまざまな悩みや困りごとを相談できる身近な相談窓口です。三木市社会福祉協議会が三木市から受託して「三木市市民ふくし相談所事業」を実施しています。

相談員は、民生委員・児童委員や福祉等に理解がある住民の方です。「ご近所との関係で悩んでいる」「家族の世話をしている不安がある」「どこに相談したらよいかかわからない」など、悩みや困りごとを抱える住民のよろず相談の窓口です。

誰かに悩みを聞いてもらうことで、自分が今困っていること、悩んでいることを整理できたり、自分の知らない制度やサービス等の情報を得ることができます。市民ふくし相談所は、相談者の想いに寄り添いながら解決に向けた糸口を一緒に考えたり、適切な制度・サービス等につなげる役割をもつ暮らしの資源です。

\* 相談は無料です。秘密は厳守します。

\* 日時・会場などの詳細は、社協ホームページをご覧ください。

